

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 8 年度 第 1 回 所沢市自治基本条例推進委員会
開 催 日 時	令和 8 年 7 月 1 3 日（月）午後 7 時 5 分から午後 8 時まで
開 催 場 所	市役所高層棟 3 階 3 0 1 会議室
出 席 者 の 氏 名	藤本 浩志（委員長）、木下 直三（副委員長）、今川 奈緒、 高橋 祐二、廣川 隆通、藤井 康輔、平塚 みゆき、坂本 敏郎、 末森 久美子
欠 席 者 の 氏 名	倉地 真太郎
説明者の職・氏名	—
議 題	(1) 所沢市自治基本条例の運用状況の報告 (2) その他
会 議 資 料	(1) 次第 (2) 所沢市自治基本条例推進委員会委員名簿 (3) 所沢市自治基本条例&市民参加を進めるための条例パンフ レット (4) 第 1 回所沢市自治基本条例推進委員会 (5) 資料 1 所沢市自治基本条例推進委員会規則 (6) 資料 2 情報の公開及び共有の状況 (7) 資料 3 参加及び協働の状況 (8) 資料 4 市政運営の状況
担 当 部 課 名	経営企画部経営企画課 電話 0 4（2 9 9 8）9 0 2 7 経営企画部長 市川 勝也 経営企画担当参事 齋藤 伸宏 主 幹 田島 幸雄 副主幹 野畑 聡志 主 査 稗田 真理子

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	開会后、市長よりあいさつ及び委嘱状の交付を行った。次に、委員の自己紹介、事務局の自己紹介を行った。続いて、委員長・副委員長の選出を行い、委員長に藤本浩志委員、副委員長に木下直三委員が選出された。
事務局	(1) 所沢市自治基本条例の運用状況の報告 説明資料に沿って説明を行った。
委員	市のホームページの運用状況から一連の報告について、2010年からアクセス件数が増えているのは当然だと考えるが、どう受け取るべきか。 SNSの活用状況について、一部アカウントが調べてもすぐに出てこない。それぞれの媒体でフォロワー数が2桁のものもあり、投稿頻度も少ない中、何の情報を誰に向けて発信しているのが伝わらず、SNSを活用していると言えるのか。 また、双方向的なコミュニケーションも見受けられず、どのようにSNSを活用していきたいかが伺えない。複数のアカウントを一本化した方が多くの市民に見てもらえるのではないか。
事務局	ホームページは一番早く見やすい形で情報をお伝えできる手段である。市が情報発信における一定の説明責任を果たしていることをお伝えするために、アクセス数が増加していることをお示したものである。
委員	ホームページのアクセス件数は、「これだけの人が見てる」という数字にすぎない。所沢に住んでいる人にランダムにアンケートを取って、「知っていますか」と聞いた方が、情報が行き届いているかどうかパーセンテージとして正確にわかるのではないか。同じ人が何度もアクセスしている可能性もありこれだけ見られているという数だけをもって説明責任を果たしていると言えるか。
事務局	市民意識調査というものを毎年実施しており、無作為抽出で年齢問わず調査を行っている。アンケートなので情報発信とは異なるが、まさにランダムで通知の届いた方からご意見を伺えるようなものになっており、その中でホームページを見ていただいているか調査することも可能となっている。情報発信は重要な課題なので、そうした手段も検討していきたい。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	委員ご指摘のとおり、ホームページのアクセス件数だけでは、ホームページの目的が果たしているかは測れないと考えている。 ページの見やすさや伝えたいことが伝わっているか、ホームページの構造や階層の問題も評価軸としてはあるものと考えている。ホームページについては、広報課で所管しているので、いただいたご意見は広報課に伝え活かしていきたい。 次に、SNSのアカウント数については、市が課題としても捉え、資料にお示ししたものである。これまでSNSのアカウントは各所管で運用しており、それぞれの分野で数多くのアカウントが存在している。中にはフォロワーがほとんどいないアカウントが見受けられ、誰に対して何のために情報発信しているのかが不明瞭といった課題がある。 まさにここが、所沢市としての情報発信の課題となっている。 今年度に広報課では、市からの情報発信をまとめていこうという、同じような課題感を持って取り上げているところである。 今後また、情報をまとめて市から魅力を発信していく際にも、ご相談させていただければと思う。
委員長	委員からの指摘の通りで、事務局も自省の念として捉えていることと思う。 まさにこういう意見を出していただければ、議事録として発言が残るし公開もされる。事務局で引き取っていただき、当委員会が出た意見として活用いただきたい。 適切な人に適切な情報が届かないと物事が始まらない。 今日の資料で、短い時間でポイントを突いていただいた。 今後も市民にどのように情報共有していくかがまず第一歩だとしたときに、デジタルを活用して効率よく、評価やデータにもつながるような工夫や取組をしていただきたい、というような意見をいただけたものと理解している。 今期の大きい課題の一つにもなる。
事務局	ホームページについて、ここでシステムの更新について進めるところ。アクセスの傾向分析などを行った上で、ページ構成や内容の整理を行う。当委員会で、市のホームページについてご意見をいただけると活かしていけると思うので、今後も厳しい意見もいただきたい。
委員長	委員の皆様も限られた時間の中で意見を伝えきれるものではなく、データや情報も多い。ぜひ持ち帰って確認していただき、建設的なご意見が出るとありがたい。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	今回の資料は誰が見てもいいのか。
事務局	議事録は公開される。資料はホームページ等で公開はしていないが、公開した方がいいのではないかとのご意見があれば検討する。
委員長	基本的には会議資料は会議参加者限定という前提があると思うが、この資料については公開した方がいいのではないかと議論になれば、次のステップとして検討するものではないか。
委員	所沢市を良くするためにはどうすればよいかという話をしていく中で、これらの情報は市民に対して隠しているものでもないと思う。 委員が、いただいた資料を他の人に見せてもいいのではないか。
事務局	それは問題ない。情報公開請求制度があり、請求があれば資料はお渡ししている。今、お話したのはホームページなどで公開はしていないということで、資料自体は非公開情報ではない。
委員	自分だけの頭で考えるより、よいのではないかと思う。
事務局	今日いろいろ説明させていただいたが、ぜひお持ち帰りいただいて、メールでも電話でも結構なので事務局までご意見をいただきたい。いただいたご意見などは、本日欠席の委員のご意見のように次回の会議等で回答させていただきたい。
委員長	その認識である。この場で閉会してそれきりになったら得られる意見も少ないと思う。委員の皆様は事務局に繋がるチャンネルを持っていると考えていただき、引き続き忌憚のないご意見をいただければと思う。
	(2) その他 事務局より、次回以降の予定として、任期の２年間で全５回の開催を予定している。第２回は１０月から１１月頃、第３回は年明け１月から２月頃、令和９年度も夏秋と年明を想定しており、詳細なスケジュールは後日通知する旨の説明を行った。
委員長	デジタルやメディアを活用した市の情報発信について、今日は比較的、踏み込んだ意見も出た。今期の一つの大きなテーマとして、課題の整理も含めデジタルを活用した案も具体的に検討していただ

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	きたいと考えているが如何か。 委員一同、異議なし 閉会 以上